

# 情報連絡員報告

(令和7年8月期)

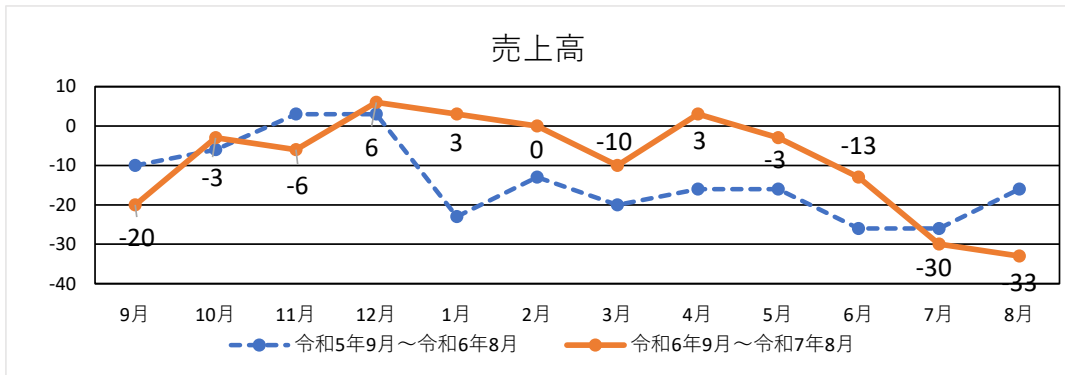
情報連絡員 30名  
回答者数 30名

## 全体概況

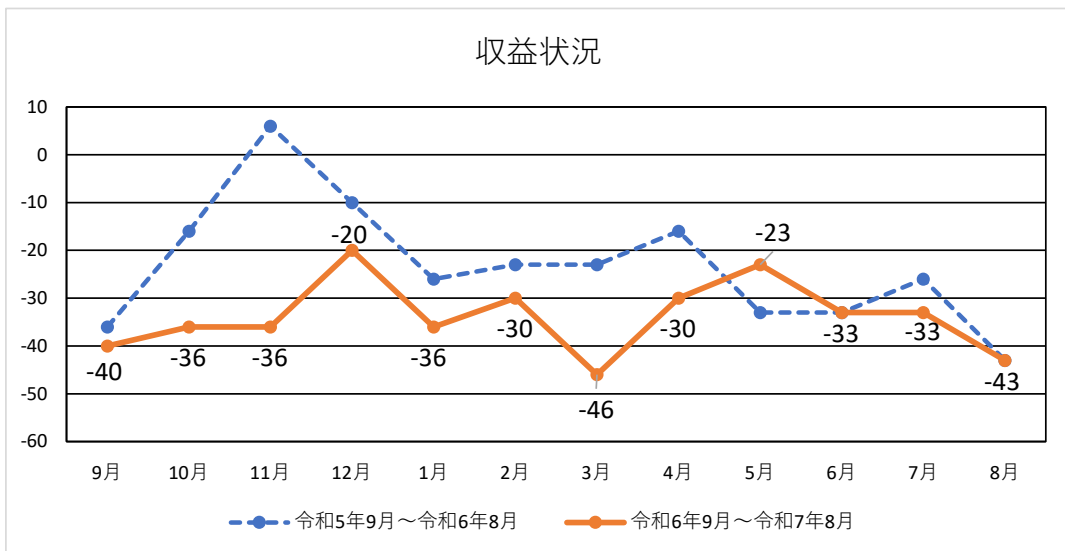
DI値は、前月と比較して、売上高は3ポイント低下、収益状況は10ポイント低下、業界景況は4ポイント改善となった。

## 1 主要3指標DI値推移

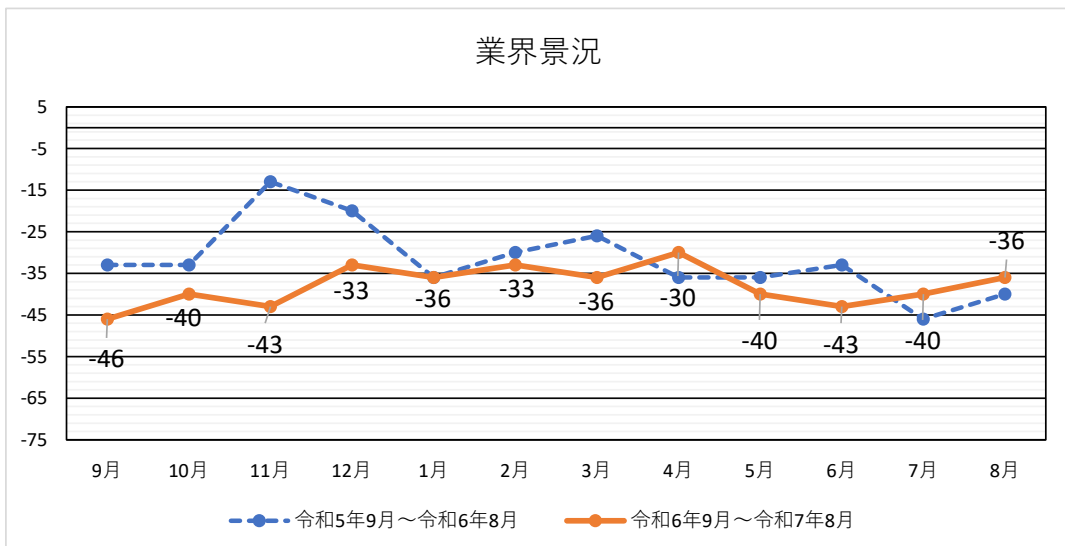
### (1) 売上高



### (2) 収益状況



### (3) 業界景況



## 2 前年同月比の業種別景気動向

(DI値)

		売上高	収益状況	業界景況
製造業	食料品	→	→	→
	木材・木製品	↓	↓	↓
	出版・印刷	↓	↓	↓
	窯業・土石	↓	↓	↓
	鉄鋼・金属	↓	→	→
非製造業	卸売	↑	→	→
	小売	→	↓	↓
	商店街	↓	↓	↓
	サービス	↘	↓	↘
	建設	↘	↘	↘
	運輸	↓	→	↓

↑      ↗      →      ↘      ↓

(30以上) (10~30未満) (△10~10未満) (△30~△10未満) (△30未満)

※DI値 = [(増加・好転組合数 - 減少・悪化組合数) / 調査対象組合数] × 100

※網掛けについては、特に悪化した項目

報告者名  
報告年月

宮崎県中小企業団体中央会  
令和7年8月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	木材・木製品	製材業	需要の回復の兆しが見られない。
	木材・木製品	製材業 (プレカット)	8月の生産坪数は先月並みであり、昨年同月比では大きく落ち込んだ昨年よりもさらに20%減少する状況であり、概ね先月と同じ展開となった。本日付の紙面記事でも、全国の住宅着工数が4月から7月までの4ヶ月連続で減少し、特に持ち家・貸家については4月以降2桁の減少が続いているとの内容である。当社の場合、9月以降出荷予定の非住宅物件が一定数あることから、非住宅関連部署はいくぶん忙しい状況である。一方、住宅関連部署は相変わらず落ち着いた稼働となっており、社内が次第に二極化しはじめている。
	印刷	印刷・同関連業	対前年度と比較しても売上が減少しており、回復の兆しは見られない。これから年末に向けて、景況の回復を願うばかりである。
	印刷	印刷・同関連業	閑散期にあり、各事業所においても受注が低調な様子である。また、10月からは印刷用紙の値上げの話が浮上しており、今後の利益確保の方法を模索しなければならない状況である。さらに、業界最大手の企業が地方自治体の業務を長期契約によって獲得したとのニュースが流れており、組合としてもその対策を講じる必要があると考える。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	8月単月の出荷数量は昨年同月比81%、累計では昨年同月比89%となった。組合員工場においては、人手不足が緊急の課題となっており、現場試験員や大型運転手を募集しているが、応募がまったくないケースが増えている状況である。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	前年同月と比較すると100.0%の実績となる。今期の累計では前年対比63.6%となり、販売価格は値上げ済みであるが、さすがに少なすぎる数字である。来月以降に期待する。
非製造業	卸売業	卸商業	大手の支払受取サイトが短縮され、資金繰りには多少の余裕が生じつつある。しかし、すべてが短縮されたわけではないため、下請けがこれに追随してくれば、借入金の返済も進んでいくと思われる。
	小売業	機械器具小売業	関税の影響により車輛価格(仕入価格)は5月以降低迷していたが、その後は落ち着きを見せ、8月の車輛価格は安定しているように思われた。ただし、お盆時期であったこともあり、組合員店舗での販売は低迷していた。一律して組合員の課題は従業員の確保であり、特に整備士不足が深刻である。人手不足は販売台数に大きな影響を及ぼすため、今後も重要視すべき課題である。
	小売業	LPガス小売販売業	8月合成CP価格(サウジ通告価格)は547.5ドル/トン(前月比△40.0ドル/トン)である。7月MB価格(米国産平均価格)+(物流経費90ドル/トン)は458.0ドル/トン(前月比△22.0ドル/トン)である。対顧客電信売相場(7月平均)は147.74円/ドル(前月比+2.20円/ドル)である。原油価格については小幅な値動きを繰り返したものの、月初と月末においてほぼ横ばいで推移した。LPG価格は不需要期の真っ只中にあることから、CP価格、MB価格ともに下落した。
	商店街	宮崎市	猛暑により商店街の人出が非常に少ない状況が続いている。
	商店街	都城市	例年になく暑い日が続き、熱中症アラートが発表される日が多かったため、日中の人出はまばらであった。暑い日ばかりではなく大雨もあったが、大きな被害がなかったのは幸いである。新燃岳も活発に活動しており、いつこちら方面に降灰があるか気になるところである。
	サービス業	観光業	8月は閑散期であるため、秋の繁忙期に向けて組合員各々が勉強し、準備を進める期間となった。そのような中、春シーズンの慰労会および勉強会を実施することができ、有意義な時間となったのである。
	サービス業	自動車整備業	月前半においては車検入庫台数が少なく、例年と比較して夏季休暇も多かったことから懸念していた。しかしながら、休暇明けには若干の回復が見られたものの、今月の実績は前年同月比で減少となった。
	サービス業	自動車運転代行業	8月の業況は、お盆の長期休暇もあり低調であった。
建設業	管工事業	官公需適格組合として、宮崎市立小中学校便所洋式化改修工事に入札参加した。9月議会の議決を得て、共同受注工事として本契約を予定している(723,000千円)。	

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和7年8月

## 情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	建設業	管工事業	外注費および材料費の上昇により、収益状況が厳しくなっている。また、若手人材の不足から外国人実習生の受け入れも考えられるが、技能習得に時間を要するため、難しい面もある。
	運輸業	軽貨物運送業	8月度は、お盆明けから取引先の応援による宅配業務が活性化し、宅配関係で約1700件の配送があった。若干ではあるが、活気を帯びた状態で推移した。通常であればお盆明けから閑散とする時期であるが、臨時の仕事を受注したことにより動きが活発となり、組合事務所での待機者がゼロとなる日が月末まで続いた。燃料関係については僅かではあるが値下がりしており、段階的な値下がり在今后も続くことを期待している。また、新規開業者からの問い合わせが徐々に増加しており、9月までに3名程度の増員が見込まれる状況である。
	運輸業	貨物運送業	原油価格は、OPECプラスの増産や米国経済の減速懸念により上値が重い状況が続いている。一方で、EUによる対ロシア追加制裁の報道や米中による追関税停止期間の延長合意が支えとなり、相場は底堅く推移すると見られている。これに伴い、国内価格も小幅な上昇が見込まれる。また、暫定税率の廃止については軽油が除外される見込みとの情報もあり、先行きが不透明な状況が続いている。